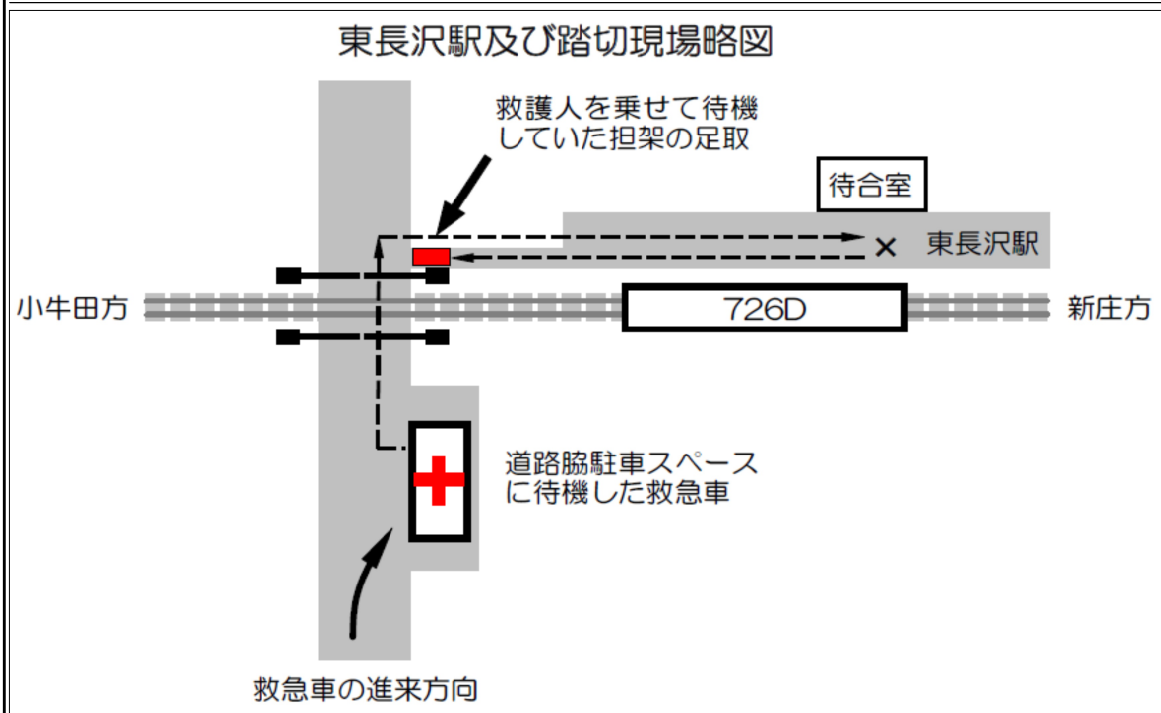


踏切で救急隊が立ち往生

踏切鳴動持続時の扱いで時間が経過



No. 2685
2014年11月1日
発行責任者 大沼 元
編集責任者 武田 昌



10月4日の正午前、陸羽東線東長沢駅構内の東長沢踏切において、踏切が遮断された状態が継続し、急病人を担架に乗せた救急隊が踏切で待たされる事象が発生した。幸い急病人は命に別条はなく、事なきを得たものの、今後の踏切鳴動持続時の取扱いに一石を投じる事象だ。

列車抑止中でも横断できないルール

当日、726D運転士は東長沢駅ホーム上に女性が



小牛田方から新庄方を見た踏切と駅構内

倒れているのを発見し、通報を受けた小牛田CTCは救急隊を要請した。

救急車が東長沢駅に到着した時点では、726D列車が停車中で、踏切の遮断棒が降下しており、救急隊(車)は駅ホームの反対側道路から進来してきたため、救急車は通過できず、やむなく担架で踏切を通過しホーム上の急病人を救護した(踏切と駅中心の距離は46m)。

その後、救急隊は救護者を担架に乗せ再度踏切を通過しようとしたが、現場に到着した駅係員と通信係員が、踏切鳴動時に踏切を通行させる取扱い(駅停車中

- 10・23 各地方・地区本部組織部長会議
- 10・25 第26回東日本家族会連合会総会
- 10・26 第55回アスベスト対策委員会

踏切鳴動持続時のパターンは様々で、一括りにすることは困難だ。

だが、今回の事象では列車が駅に停車しており、抑止は完了している状態であったにもかかわらず、関係社員による抑止手配を求められ多くの時間を費やしてしまった。

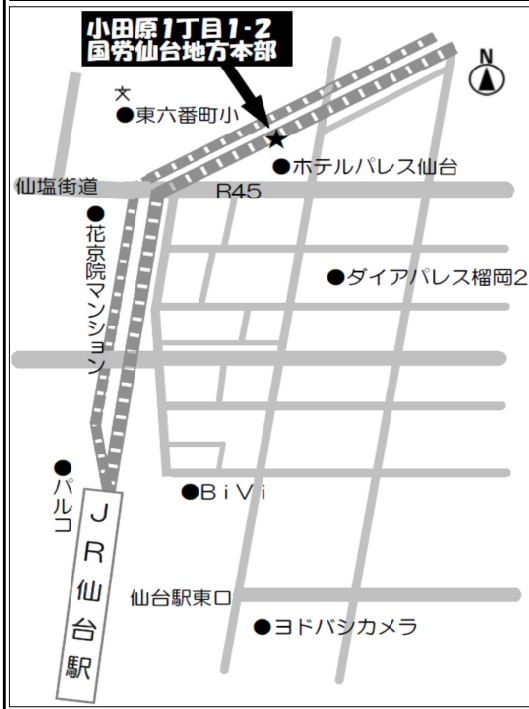
現場関係者は、「救護に時間かかり、万一死亡など最悪の事態になれば、場合

生死を争う状態では許可を得ず横断

今回の事象に対する関係する社員らは、踏切鳴動持続時の取扱いをルール通りに行い、「現場に到着した社員による抑止手配」を完了した後、救急隊と救護者を踏切を通過させたが、そのために多くの時間を費やした。

また救急隊は、「今回は命にかかわる状態ではなかったから待っていたが、救護者の状態によってはJRの許可を得ずに通行することもあり得る」と話していたという。

- 10・26 地本事務所移転
- 10・27 東北交運バス部会
- 11・12 第2回地方執行委員会



地方本部事務所移転のお知らせ

国労仙台地方本部は事務所を移転し、10月27日より下記住所にて業務を行います。

新住所 〒983-0803
宮城県仙台市宮城野区小田原1丁目1-2 2F
(ホテルパレス仙台後ろ側)
電話 NTT 022-794-8466 JR 031-3993
FAX NTT 022-794-8468 JR 031-3991
※JR番号は変わりありません。
NTTが変わりました。

【昌】

また現場の切実な意見を重視し、関係主管課も緊急時に対応できるルールの早期制定に向けた動きを見せられている。

地方本部は、安全問題プロジェクト会議でこの事象について議論し、近く「踏切問題プロジェクト会議」を開催し、更に議論を深め会社に対策等を求めていく方針だ。

国労フクシマ交流・視察学習会の取り組みについて

国労仙台地指第1号

14年10月16日

日時 14年11月29日～30日

内容・日程

- 29日 現地視察交流
- ※各支部への動員はなし
- 30日 交流学習会
- 郡山市ホテルプリシード
- ※各支部・分会代表者及び福島県支部と郡工支部は最大要請

風雨に耐え意地見せる 台風なんのぞの地本ゴルフ大会

10月6日、地方本部は仙台南ゴルフ倶楽部において第15回地本ゴルフ大会を開催しました。

当日は、台風18号が接近し14人が棄権し、8組27人のプレーになりました。

大村恒雄名誉実行委員長の競技説明後、上下雨具姿の完全装備でスタート。ラウンドでは、フェアウェイは至るところで水溜り、溜め池と化したバンカー、カップが雨水に埋まったグリーン等、クローズ寸前のコンディションでのプレーでした。

そしてハーフ9ホール終了後、宮城県東部仙南に大雨・洪水・暴風警報が発表されたためプレー継続を打ち切り、9ホール終了時点のスコアで順位を決めることになり、15回大会を制したのは、昨年準優勝の村上晃一さんでした(仙台総合車両所支部台車分会)。

村上さんは、「雨で体は冷え、スコアがまとまらなかったが、現役最後の大会で優勝カップに名前が刻まれることがとても嬉しい」と笑顔で語ってくれました。なお悪天候を物ともせず優勝した村上さん(イン・グロス42ネット34・8)、準優勝の阿部貴弘さん(同41ネット35・0)、ベストグロス40(アウト)を叩き出した中鉢悟さん、次いで同44(イン)の青野恒男さんの4人は、来年開催予定の「第3回国労東日本ゴルフトーナメント」へ地本代



悪天候を制した? プレイヤー達

表選手としての出場権を獲得しました。【弘】

運輸協議会が拡大幹事会

10月9日、国労仙台運輸協議会は、拡大幹事会を国労新庄地区協議会事務所において開催した。この拡大幹事会は持ち出しで取り組まれ、新庄地区が第一回目の取り組みとなった。



冬期を控え、要求を出し合う

会議は新庄地区協議会若野議長の下で進行し、運輸協議会石塚議長は、「各地区の状況把握のため移動幹事会として取り組みを決定した。冬期提案、業務委託、遠隔操作システム、MV50導入等、自動化の波が押し寄せている。職場の矛盾点を討論から明らかにし改善の取り組みを強化しよう」とあいさつ。

討論では、新庄地区の冬期問題を中心に議論した。特徴的な意見として「駅と保線で冬期間のズレがあるので統一・改善を」「降雪地域で何でも33条発動はおかしい」「冬期要員の教育不足、昨年は助勤者が汽笛吹鳴を受けた」「遺失移管は営業非番者の対応だが、冬期は大変。日勤者またはダイヤに組んでもらいたい」「若手はプロジェクトや研修が多いため、冬期は大変。冬期は控えるよう会社と話をしていく」「事務が除雪の見張

優勝	村上 晃一	仙総合台車
準優勝	阿部 貴弘	郡山駅連
3位	菊地 浩喜	小牛田運輸区
4位	千葉 弘	小牛田運輸区
5位	小野 孝一	仙宮運輸区
6位	柳田 敏幸	仙総車体
7位	中鉢 悟	小牛田運輸区
8位	青野 恒男	仙台運輸区
9位	斎 琢男	仙台信通区
10位	蛭川 浩	福島地区

山形で団結いも煮会

河原で30人が交流

10月11日、仙台駅連合・仙石線駅連合・山形連合の三分会合同の芋煮会が千歳近郊の河原で開催されました。

当日は絶好の秋晴れの元、宮城から14人、山形から16人の組合員と家族が参加しました。

開催地の分会を代表し山形連合長谷川分会長は、「今年も宮城と山形の仲間が集った。成功に向け努力

した組合員と家族の皆さんに感謝します。大いに飲み食べ語らいましょう」とあいさつ。続いて仙石線連合千歳分会長と仙台駅連合大友分会長も分会の仲間を紹介しながらあいさつし、親睦を深めました。

会では山形名物の「牛肉醤油味の芋煮」を始め、米沢のなみかた(羊肉)が焼かれ、宮城と山形の地酒で大いに盛り上がりました。

参加したエルダー組合員からは「こうした何気ない交流の取り組みが組合員相互の信頼と団結を深める。継続することが大切だ」と交流の大切さを改めて伝えられました。【昌】

仲間の異動

10月1日付 出向

- 加藤 宗男さん
岩切駅→TSS利府駅
- 矢部 智久さん
郡総→TKK郡山
- 藤崎 健一さん
郡総→TKK郡山
- 安斎 弘美さん
郡山駅→TSS郡山駅
- 柳沼 良充さん
郡山駅→TSS郡山駅
- 今野 義弘さん
船岡駅→TSS船岡駅



いつでもどこでも誰とでも交流できるのが我々の強み